特集 平成20年度 決算報告

平成20年度に皆さんが納めた税金は、「自然と産　業が調和する創造のまち　寄居（よりい）」のまちづくりのため、さまざまな形で使われました。

今回は9月に行われた町議会第4回定例会で認定を受けた町の決算の概要についてお知らせします。

問い合わせ／財務課（☎581・　2121内線323）へ。

一般会計

一般会計決算は、私たちの暮らしに欠かすことのできない福祉や教育、防災、生活環境などにかかるお金の収支で、平成20年度は95億2、836万7千円の歳入に対して、90億9、018万7千円の歳出となり、差し引きで4億3、818万円の黒字となりました。

歳入（3・8%減）

一般会計の歳入の内訳をしたものがグラフ1で、歳入全体では約3億8千万円減少しました。主な歳入については次のとおりです。

町税（2・6%増）
歳入の48%を占める町税は、町民税、固定資産税が増加したことなどから約1億2千万円の増額となりました。町民一人あたりでは、12万4、433円の負担額となり、その内訳を表したものが別表1です。

地方交付税（15・4%増）
普通交付税の増加に伴い約1億9千万円増加しました。

国庫支出金（29・9%減）
主に普通建設事業に対する補助金の減少などにより約1億9千万円の減額となりました。

町債（41・8%減）
普通建設事業などに対する借入を抑制したため、約2億2千万円減少しました。

歳出（4・2%減）

平成20年度（一般会計の歳出で）は、次の5つの重点事業を中心に、関連する各施策を積極的に推進しました。

①企業誘致推進事業
・企業誘致DVD制作事業
・農村地域工業等導入実施計画変更事業

②子育て支援事業
・子ども医療費支給事業
・次世代育成支援対策行動計画調査事業
・子育て支援センター事業

③生涯学習施設整備事業
・男衾生涯学習施設整備事業

④学校教育環境推進事業
・男衾小学校体育館耐震補強事業
・ICT教育環境整備事業

⑤生活環境整備事業
・合併処理浄化槽普及促進事業
・道路環境整備事業
・寄居駅トイレ整備事業

目的別歳出
教育、土木、福祉等のように、どのような目的でお金が使われたかによって歳出を分類したもので、これを表したものがグラフ2です。最も多く使われたのが民生費、次に総務費、衛生費、公債費の順で、歳出全体では前年度より約4億円の減少となりました。

民生費（1・6%増）
社会福祉を目的として、障害者自立支援給付費に約3億1千万円が使われたのをはじめ、保育所入所児童委託料に約2億2千万円、こども医療費給付費に約8千万円および介護保険事業負担金として大里広域市町村圏組合に約3億1千万円を支出しました。また、国民健康保険特別会計に約2億8千万円、後期高齢者医療特別会計に約7千万円、老人保健特別会計に約3千万円を繰り出しています。

総務費（1・5%増）
自治振興事業のほか、交通安全対策や防犯対策事業、バス運行経費の負担金、広報よりいの発行、情報化の推進事業等に使われました。

衛生費（0・0%）
健康づくりやごみ、し尿処理、環境保全等を目的としており、し尿収集委託料に約2億4千万円が使われたのをはじめ、ごみの収集運搬業務委託料に約7千万円、予防接種委託料に約4千万円、汚泥再生処理センター施設運転業務委託料に約3千万円を支出しました。また、ごみ処理に対する負担金として大里広域市町村圏組合に約4億2千万円を支出しました。

公債費（3・0%増）
公共施設の整備事業等で借り入れた町債の返済金で、元金約8億2千万円、利子約2億2千万円を償還しました。

教育費（14・5%増）
教育および文化の振興等を目的として、男衾生涯学習施設整備事業に約5千万円が使われたのをはじめとして、男衾小学校体育館耐震補強事業や城南中学校図書室エアコン設置工事など小・中学校の学校建設事業に約7千万円を支出しました。また、中学生海外研修派遣事業、こどもギネス大会や人権教育研修会、各種スポーツ大会などの事業を実施しました。

土木費（35・7%減）
道路や公園、住宅の整備を目的として使われ、町道の改良や舗装・側溝整備などに約3億5千万円を支出しました。また、下水道事業特別会計に約2億3千万円を繰り出しています。

消防費（9・1%減）
消防団第5分団詰所建替事業をはじめとした施設整備に約4千万円が使われたほか、深谷市へ消防事務委託として約5億円を支出しました。

農林水産業費（22・8%減）
農林業の振興などを目的として、寄居ブランド戦力調査事業やエキナセア加工製品開発事業等を含む農業振興事業に約3千万円、里山保全整備事業を含む林業振興事業に約2千万円を支出しました。また、農業集落排水事業特別会計に約3千万円を繰り出しています。

性質別歳出
人件費や補助費等、投資的経費というように経済的な性質によって歳出を分類したもので、これを表したのがグラフ3です。

人件費（3・8%減）
職員給与、町議会議員や各種委員会委員への報酬等の経費で、約7千万円減少しました。

物件費（3・3%増）
消耗品費や光熱水費、電話料や郵便料、委託料などの経費で、約5千万円増加しました。

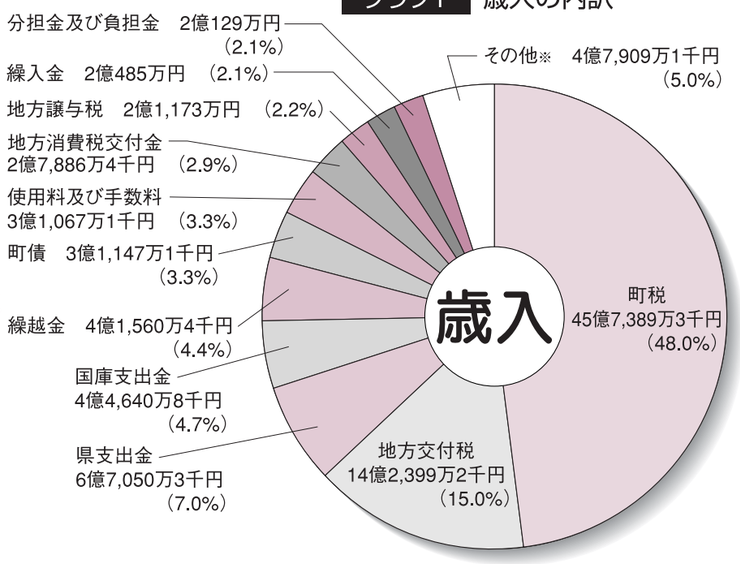
補助費等（1・7%増）
各種団体への補助金や負担金などの経費で約2千万円増加しました。

繰出金（0・1%増）
特別会計等へ繰り出される経費で約130万円増加しました。

扶助費（3・6%増）
障害者・高齢者・児童などのために使われる福祉的経費で、約4千万円増加しました。

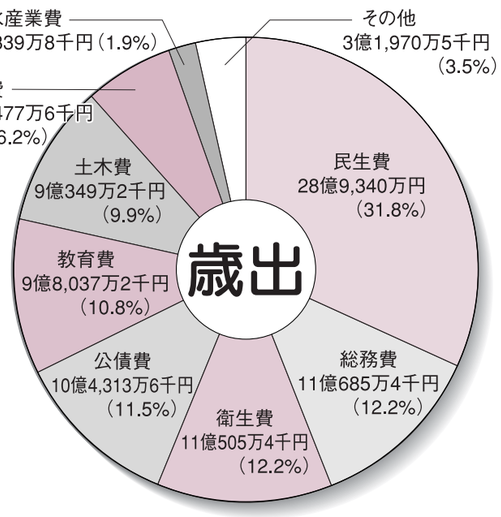
公債費（3・0%増）
公共施設の整備事業等で借り入れた町債の返済金で、約3千万円増加しました。

投資的経費（35・8%減）
道路整備や公共施設の建設などの経費で、約4億7千万円減少しました。



グラフ1　歳入の内訳

歳入合計 95億2,836万7千円



グラフ2　目的別歳出の内訳

歳出合計 90億9,018万7千円

別表1　町民1人当たりが負担した町税

12万4,433円 の内訳

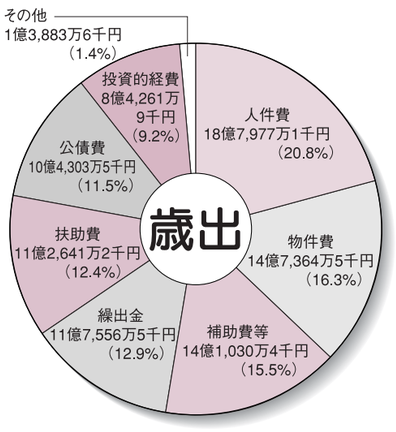
区　分	金　額（円）
固定資産税	60,658
町民税	54,375
町たばこ税	5,246
都市計画税	2,156
軽自動車税	1,851
入湯税	147
特別土地保有税	0

別表2　町民1人当たりに使われたお金

24万7,298円 の内訳

区　分	金　額（円）
民生費	78,715
総務費	30,112
衛生費	30,063
公債費	28,378
教育費	26,671
土木費	24,579
消防費	15,365
農林水産業費	4,717
その他	8,698

平成21年3月31日現在住民基本　台帳人口で算出しています。



グラフ3　性質別歳出の内訳